

平成28年度（29年3月期） 第3四半期連結決算概要

1.平成28年度 第3四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント 減収減益：減収は2期連続、減益は2期ぶり（純利益ベース）

ガス販売量	+253百万m ³	:工業用および他事業者向け供給の増等
売上高	△2,539億円	:原料費調整に伴う単価減などによる「都市ガス」の売上減 △2,111億円 :LNG販売、ガス器具販売など「エネルギー関連」の売上減 △685億円
営業費用	△1,535億円	:原油価格下落影響などによるガス原材料費等減 △1,627億円(当期3,519-前期5,146)
特別損益	+220億円	:（当期）投資有価証券売却益 +29億円 :（前期）減損損失 △191億円（TGパーネット△106、TGQC△84）

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	28年度3Q	27年度3Q	増減	%	28年度3Q	27年度3Q	増減	%
都市ガス	7,071	9,182	△ 2,111	△ 23.0	395	1,193	△ 798	△ 66.8
電力	1,007	896	111	12.4	26	90	△ 64	△ 71.2
海外	196	213	△ 17	△ 7.8	24	36	△ 12	△ 33.7
エネルギー関連	3,165	3,850	△ 685	△ 17.8	102	232	△ 130	△ 55.7
不動産	309	294	15	5.1	66	51	15	29.4
その他	616	551	65	11.8	20	27	△ 7	△ 26.2
調整額	△ 1,506	△ 1,589	83	-	△ 338	△ 332	△ 6	-
連結	10,860	13,399	△ 2,539	△ 18.9	298	1,300	△ 1,002	△ 77.1

(注) ・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。
・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。
・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、エンジニアリングソリューション、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、ガス器具、ガス工事、建設等。

<28年12月末現在連結会社数：連結子会社66社、持分法適用関連会社8社>

(単位:億円)

決算実績表	28年度3Q	27年度3Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	11,086	10,833	253	2.3
売上高	10,860	13,399	△ 2,539	△ 18.9
営業費用	10,579	12,114	△ 1,535	△ 12.7
営業利益	281	1,284	△ 1,003	△ 78.1
経常利益	255	1,253	△ 998	△ 79.6
親会社株主に帰属する当期純利益	174	789	△ 615	△ 77.9

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	28年度3Q	27年度3Q	増減		28年度3Q	27年度3Q	増減
設備投資	1,277	1,488	△ 211	D/Eレシオ	0.70	0.65	0.05
営業キャッシュ・フロー	1,379	1,828	△ 449	ROA	0.8	3.5	△ 2.7
有利子負債	7,221	7,157	64	ROE	1.6	7.3	△ 5.7

(注) 有利子負債、D/Eレシオは28年3月末との比較

経済フレーム	28年度3Q	27年度3Q	増減
為替レート(¥/\$)	106.65	121.74	△ 15.09
原油価格(\$/bbl)	44.86	54.60	△ 9.74
平均気温(°C)(※)	19.5	19.6	△ 0.1

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間（前月の検針日から当月の検針日まで）における気温を平均したものを。

(2)ガス販売量

		28年度3Q	27年度3Q	増減	%	
ガス販売量	お客さま件数	千件	11,488	11,352	136	1.2
	家庭用	百万m ³	2,083	2,024	59	2.9
		百万m ³	1,906	1,885	21	1.1
	業務用	百万m ³	5,471	5,390	81	1.5
	工業用	百万m ³	7,377	7,275	102	1.4
	計	百万m ³	1,626	1,534	92	6.0
他事業者向け供給	百万m ³	11,086	10,833	253	2.3	
合計	百万m ³					

家庭用 :冬場の低気温による給湯需要増
 業務用 :夏場後半の高気温による空調需要増および冬場の低気温による給湯・暖房需要増
 工業用 :既存設備の稼働増
 他事業者向け供給 :供給先事業者の需要増

2.平成28年度 通期見通し <対前回(10.28)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回 増収減益（経常利益ベース、当期純利益の増減なし）（対前期 減収減益）

ガス販売量	+164百万m ³	:工業用の増等、12月までの実績差を反映
売上高	+210億円	:都市ガス+177億円（販売量増等）、 エネルギー関連+40億円（エンジニアリングソリューション等）他
営業費用	+240億円	:都市ガス+239億円（4Qの為替・油価見通しを反映した原材料費単価増等）他
営業利益	△30億円	:都市ガス△62億円（原材料費単価増による利益減等）、海外+6億円（為替影響等）他 :前提となる4Qの経済フレームを変更 為替レート:105円/\$→115円/\$、原油価格:45\$/bbl→55\$/bbl

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	27年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,798	15,634	164	1.1	15,436	362	2.3
売上高	16,170	15,960	210	1.3	18,846	△ 2,676	△ 14.2
営業費用	15,640	15,400	240	1.6	16,926	△ 1,286	△ 7.6
営業利益	530	560	△ 30	△ 5.4	1,920	△ 1,390	△ 72.4
経常利益	460	480	△ 20	△ 4.2	1,888	△ 1,428	△ 75.6
親会社株主に帰属する当期純利益	410	410	0	0.0	1,119	△ 709	△ 63.4

経済フレーム	28年度	27年度	増減
為替レート(¥/\$)	108.74	120.17	△ 11.43
原油価格(\$/bbl)	47.40	48.73	△ 1.33
平均気温(°C)	16.2	16.6	△ 0.4

為替・原油変動のガス粗利影響感度(4Q) (単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	3	11	△ 8
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	0	3	△ 3